



舟づくり

エジプトの舟づくりは古く、紀元前3400年以前に始まっています。ナイル河の流域に住んでいた部族はパピルス束を束ねて舟をつくり各地と交易を行っていました。エジプトでは良質の木材が産出しなかったのです。交易の範囲が広がりレバノンから良質の杉を輸入することが出来るようになり、舟づくりが大きく変化しました。

下の図は紀元前2000年ころ、ノミ状のものを棍棒で叩く。石斧に柄のついたものか？金属の刃物か？手斧（ちょうな）で舳先に使う棒を又、船底を削っているものなど。

当時の舟は骨組はなく、厚い木材の外板が木くぎと砂時計型の木片とでつぎ合わされています。船の水中に沈む部分は水圧できつく締まり、外板に差し込まれた横梁（ビーム）は船体をがっちり支えています。



1954年、クフ王のピラミッドのすぐ南側から、解体されて埋め込まれていた木造の船が発見されました。全長約43.4メートル。4,500年もの間、くちることなく保存できたのは、石灰岩でふたをされて漆喰がほどこされ、完全な密室状態にあったからといわれます。太陽の船と名付けられたこの人類最古の木造船は王の死後、太陽神とともに冥界を旅するために造られたとされていますが、肝心のクフ王の遺体はいまだ発見されていないのです。

(はれ予報 2000 APRIL 取材 清水美智子 による)

参考図書

星と舵の航跡 船と海の6千年 ノーベル書房 1970年
はれ予報 2000 APRIL

ホームページと電子メールをご利用ください。

URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>
<http://www.kanamonoya.co.jp/>
e-mail ryou@memenet.or.jp

むらの鍛冶屋



何でもお気軽に
お尋ねください！！